

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく4

国立市立国立第七小学校

平成28年9月23日 NO.47 (347)

花ちゃん 「ちがうわ。ちがうわ。ぜったいにちがう。」

オー君 「^{おな}同じだ。^{おな}同じ。^{おな}ぜったいに^{おな}同じ。」

花ちゃん 「ちがうわ。もう、オー君なんかきらい。」

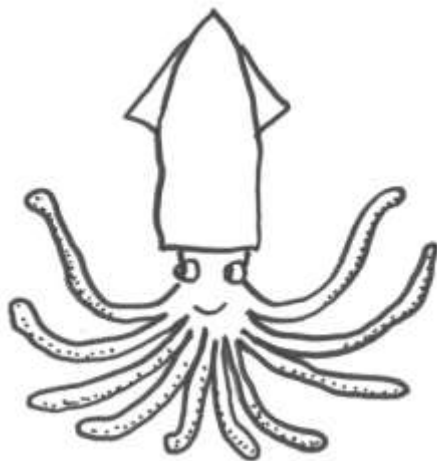
オー君 「^{おな}同じだ。もう、花ちゃんなんかきらい。」

モンタ博士 「あらあらどうしたの。けんかはいけないよ。^{なかよ}仲良くしよう。」

花ちゃん 「だって、オー君がイカとタコは、^{おな}同じだっていうんだもん。」

オー君 「だって、花ちゃんがイカとタコは、ちがうっていうんだもん。」

モンタ博士 「ほほー。つまり、^{ふたり}二人でイカとタコが^{おな}同じかちがうかを^{はな}話し^あ合っていたということだね。それじゃ、^{おな}どこが^{おし}同じで、^{おし}どこがちがうか^{おし}教えてよ。」



オー君 「まず、イカもタコも、さわってみるとわかるけど、^{ほね}どっちも^{ほね}骨がなくてやわらかいよ。」

花ちゃん 「でもね、オー君。やわらかいのはよくにているけど、^{あし}足の^{かず}数がちがいます。イカは^{あし}足が^{ほん}10本で、タコは^{あし}足が^{ほん}8本です。」

オー君 「^{あし}足がたくさんあるのは^{おな}どっちも^{おな}同じだよ。そして、^{あたま}頭^{あし}から^{あし}足がはえているのは^{おな}同じだよ。」

花ちゃん 「^{あたま}頭^{はなし}のお話^{たし}だけど、^{あし}確かに^{あたま}足は^{あたま}頭^{あたま}からはえていますけど、^{どうたい}胴体^{かたち}の^{かたち}形^{かたち}がまるでちがいます。イカの^{どうたい}胴体^{ほそなが}は細長くて、タコの^{どうたい}胴体^{まる}は丸いんです。」

オー君 「でもね、^{あたま}頭^{うえ}の上に^{どうたい}胴体^{あたま}があるのは^{おな}同じじゃないか。」

花ちゃん 「ふーん。でも、オー君は、タコの目を見たことがありますか。タコにはまぶたがあるけど、イカにはないんです。そこがちがいます。」

オー君 「いやいや、まだ同じところはあるよ。イカもタコもどっちも泳ぐときには吸いこんだ海水をろうとという所からジェットのように吹き出し泳ぐんだ。」

花ちゃん 「うーん。そうだ。どっちもえものを取るときに、きゅうばんがあつてそれで、えものを取るけど、イカには、『しょくわん』というちょっと長い足があるのよ。オー君、知らなかったでしょ。」

オー君 「イカもタコも、敵からかくれたり、えものを待ちぶせして取るために、体の色をまわりの色に合わせて変えることができるんだ。どっちもすごいんだ。」

モンタ博士 「二人とも、いろいろと調べてすごいね。感心だよ。まだまだあるのかな。」

花ちゃん 「まだまだあると思います。」

オー君 「そうだ。まだまだあるぞ。えーっと・・・。」

モンタ博士 「イカとタコ。同じがちがうか・・・正解は、同じでもあるし、ちがってもしるとのことだね。」

花ちゃん 「どういうことですか。」

モンタ博士 「つまり、どっちが正しい、どっちがまちがいなんてないんだよ。大切なことは、同じところ、ちがうところを見たり考えたりすることなんだね。」

オー君 「見たり考えたりすることがだいじ・・・どういうことですか？」

モンタ博士 「ようするに、二つのことを比較して見ること、比較して考えることは、とても大切なんだ。比較することは『科学』の大切な『はじめの第一歩』だとモンタ博士は思うね。そして、比較するのに、大切なことは、数で表したり、大きさや形をみることだね。これからも、いろいろなものをよく見たり、考えたりしてみよう。あ！そうだ。ミカンとリンゴ。どこが同じでどこがちがうかな。さあ、みんなで考えよう！」

とつぜんですが、ここで「イカイカ・タコタコクイズ」

- Q1 イカとタコは何のなかまかな？（魚のなかま・貝のなかま・クラゲのなかま）
- Q2 イカとタコ、漢字ではどのように書きますか。
- Q3 イカとタコ、英語では何といいますか。

こたえはウラ⇒

Q 1 イカとタコは何のなかまかな？（魚のなかま・貝のなかま・クラゲのなかま）

Q 2 イカとタコ、漢字ではどのように書きますか。

イカ⇒烏賊 タコ⇒蛸

Q 3 イカ⇒とタコ、英語では何といいますか。

イカ⇒squid（スクイッド） タコ⇒octopus（オクトパス）